

一つとなるために

ヨハネによる福音書一七章20〜26節

父よ、あなたが私の内におられ、私があなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。(21)

とりなしの祈りの最後にあたり、主イエスが祈られたのは、弟子たちが一つとなるようにということでした。他の福音書によると、弟子たちはこのとき、「誰が主の一番弟子か」ということで言い争いをしていました。「自分こそ一番弟子だ」と互いに主張し、彼らの心はバラバラになっていました。主イエスが求められた一致は、互いの違いを抹殺し、同質になることによってもたらされる全体主義のような一致ではありません。それぞれが個性を持ち、違いを認め合いながらも、主イエスにあって一つとなるものです。それは愛における一致、信仰における一致です。永遠の大祭司なるキリストは、今も神の右の座にあって私たちのために執り成しておられます。お互いの考え方や生き方の違いを越えて、イエスを愛する愛において、神を信じる信仰において一つとなろうではありませんか。